

平成30年度 
次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 文化庁

新進バレエダンサー育成並びに
バレエ団運営の基盤整備及びマネジメント人材育成

報告書

ごあいさつ

日本バレエ団連盟は、昨年9月で法人設立から4年が経過いたしました。設立の翌年度より、文化庁の「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として、海外優秀指導者による新進バレエダンサーへのマスタークラス開催と、バレエ団運営における基盤整備に向けた調査・研修を2つの大きな軸とし、ダンサーと制作運営の両面から人材育成を継続して行っています。

本年度、ダンサー育成としては、平成27年度より毎年継続して招へいしている海外の優秀指導者によるレッスンをを行い、その成果を一般に公開いたしました。

運営基盤整備に向けた取り組みとしては、日本のバレエ団に近い予算・組織規模でありながら、運営体制の整備・ダンサーへの給与支払い・民間からの資金調達等を積極的に行っている、アメリカの中・小規模の地方バレエ団における運営実態を調査するとともに、日本のバレエ団の現状を踏まえた実践的なセミナーを開催いたしました。

日本バレエ界においては、国内外での日本人ダンサーの活躍が著しい反面、芸術創造の主体であるバレエ団の経営基盤は脆弱な部分が多く、長い間、その環境整備が求められてきましたが、今、改革に向けて、各バレエ団が一步ずつ踏み出しています。

まだまだ多くの課題がありますが、日本においてダンサーやスタッフが心置きなく創造活動に専心できる環境の実現を目指し、引き続き、尽力させていただく所存です。今後とも、関係各位の一層のお力添え、ご指導を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本事業にご理解を賜り、快くご協力をくださいました皆さまに、深く御礼申し上げます。

2019年3月

一般社団法人 日本バレエ団連盟

目次

● ごあいさつ

● 事業概要

1章 マスタークラス実施報告

- 1-1 概要……5
- 1-2 ローラン・フォーゲル氏によるマスタークラス・公開レッスン……5
- 1-3 パトリック・アルマン氏によるマスタークラス・公開レッスン……11

2章 バレエ団運営に関する調査報告

- 2-1 日本におけるバレエ団運営状況……19
- 2-2 アメリカにおけるバレエ団運営の事例調査……25
 - 2-2-1 調査の概要……25
 - 2-2-2 アメリカにおけるバレエ団の運営の概況……26
 - 2-2-3 バレエ団への聞き取り調査……27
 - (1) セントルイス・バレエ団……27
 - (2) バレエ・アリゾナ……42
 - (3) サラソタ・バレエ団……53
- 2-3 芸術団体におけるデジタル・マーケティングの最新事例調査……72
 - 2-3-1 聴講セミナー概要 (デジタル・マーケティング・ブートキャンプ) ……72
 - 2-3-2 聴講内容の報告……72

3章 セミナー実施報告

- 3-1 バレエ団運営スタッフ向け
「ファンドレイジングセミナー」……121
- 3-2 バレエダンサー向け
「基礎からはじめる確定申告セミナー」……124

付録 海外のバレエ団で活躍する主な日本出身者 (2018/2019シーズン現在) ……131

平成30年度 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業

事業概要

1. 事業名

新進バレエダンサー育成並びにバレエ団運営の基盤整備及びマネジメント人材育成

2. 事業の趣旨・目的

習い事文化が広く根付いている我が国において、バレエは人気の習い事であり、その広い裾野から優秀なダンサーが育ち、国際的に活躍している。その背景に、多くの優秀なバレエダンサーが海外に活躍の場を求めている現状があり、日本のバレエ団の運営基盤整備が求められている。

本事業は、日本バレエ界全体の芸術水準向上とさらなる発展を目指し、新進バレエダンサーの育成と、バレエ団運営に携わるマネジメント人材の育成を2つの大きな軸として、ダンサーと制作運営という両面から舞台芸術を支える人材の育成を行うものである。

新進バレエダンサーに対しては、プロフェッショナルとして活動を行うにあたって必要な技術と能力の育成を図るために、海外優秀指導者によるマスタークラスを実施し、その成果を、将来プロを目指す若手ダンサーとその指導者に対しても公開する。また、ダンサーとしてのスキル向上のみではなく、副業や引退後の活動も見据え、社会で活躍できる人材を育成するために、社会人としての基本を身につけるためのセミナーを実施する。

マネジメント人材の育成としては、各バレエ団が運営体制の改革に踏み出すために参考となる海外事例を調査するとともに、日本において、各バレエ団の実態を踏まえた実践的なセミナーを実施する。

3. 事業の内容

(1) マスタークラスの実施

指導：ローラン・フォーゲル、パトリック・アルマン

対象：牧阿佐美バレエ団、東京シティ・バレエ団、スターダンサーズ・バレエ団、

貞松・浜田バレエ団（実施順）

(2) バレエ団運営に関する調査

・アメリカにおけるバレエ団運営の事例調査

調査対象：セントルイス・バレエ団、バレエ・アリゾナ、サラソタ・バレエ団

・芸術団体におけるデジタル・マーケティングの最新事例調査

調査方法：デジタル・マーケティング・ブートキャンプ（ニューヨーク）への参加

(3) セミナーの実施

・バレエ団運営スタッフ向け「ファンドレイジングセミナー」

研修企画：特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会

講師：日本ファンドレイジング協会 准認定ファンドレイザー／

アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）企画室企画助成課

シニア・プログラム・オフィサー 今野 真理子氏

・バレエダンサー向け「基礎からはじめる確定申告セミナー」

講師：星田税務会計事務所 星田 直太氏

■ 調査会議委員

安達 悦子（東京シティ・バレエ団）

井上 寛子（東京バレエ団）

岩永 智博（東京バレエ団）

尾崎 瑠衣

小山 久美（スターダンサーズ・バレエ団）

黒澤 希（牧阿佐美バレエ団）

小林 健太（小林紀子バレエ・シアター）

堤 悠輔（貞松・浜田バレエ団）

平野 綾那（スターダンサーズ・バレエ団）

諸角佳津美（井上バレエ団）

山本 千絵（東京シティ・バレエ団）

廣瀬 智子（日本バレエ団連盟事務局）